

最近になり、突然暖かくなりましたね。今年は花粉もたくさん飛んでおり、風邪以外に花粉症で鼻水を出している子どもも多く見られます。まだまだ感染性胃腸炎のお子さんもあり、油断を許さないような状況ですが、手洗い、うがいを丁寧に、しっかりと休養を取るようにしましょう。

## 2月の感染者情報

- インフルエンザ…1人
- 胃腸炎…12人
- 発熱…16人
- 下痢…4人
- 嘔吐…13人
- 咳…2人
- 鼻水…8人

## 母子健康手帳、定期的に見直してみませんか？

母子健康手帳は、お母さんの妊娠から出産、そして、お子さんの出生から成人するまでの健康を記録するもの。引っ越したり、転院したりしても、お母さんとお子さんの健康を切れ目なくサポートするための大切な記録です。

### チェック1

#### 身体発達曲線に育ちを記録していますか？

身体発達曲線(成長曲線)には、子供の身長と体重の育ちの目安がのっています。ここに、お子さんの身長と体重の測定値を記入し、線で結んでみましょう。成長曲線の目安とお子さんの測定値のグラフが平行に伸びていれば、順調に成長していることが分かります。

### チェック3

#### 保管場所を決めていますか？

母子健康手帳は、小学生になると使う機会が少なくなりますが、お子さんにとっては大切な「健康の履歴書」です。将来、留学や仕事などで予防接種の接種歴を見るなど、必要な場面があります。家族で置き場所を決めて、大切に保管しておきましょう。

### チェック2

#### 予防接種の受けそびれはありませんか？

3歳以降は予防接種の数が減るため、つい忘れがちですが、日本脳炎やMR、流行性耳下腺炎(おたふく風邪)などの追加接種があります。せっかく最初の接種を受けても、追加接種を受けないと免疫が十分につきません。追加接種を受けそびれないように気を付けましょう。また、二種混合ワクチンや子宮頸癌ワクチン等、小学生以降に受ける予防接種も記録します。就学後もときどきチェックしましょう。

#### 中学生や高校生になったとき、成長を振り返る記録になります！

母子健康手帳を使うのは主に6歳までですが、それ以降も大切に保管しておきましょう。大きくなってから、本人が成長を振り返る時にも母子健康手帳は便利です。

## 感染性胃腸炎について

年明けより園内での感染状況が依然として終息していません。嘔吐や下痢等の症状がある時には、必ず病院を受診し、医師の許可を得てから登園してください。また、体調に変化があった際にはできるだけ速やかにお迎えをお願い致します。登園できるには、①嘔吐が治まる事、②通常の食事の形と量が食べられる事、③全身状態が良く機嫌がいいこと、④下痢の場合は普通便の確認が取れる事、⑤便秘等で排便が無い子は24時間排便が無いことが条件です。感染後は元気そうに見えて体調が戻ってない子どもが多く、登園後に嘔吐や下痢をする子どもが多くいます。用心できる方は、自宅にて休養を取らせてあげてください。